







マカオの天主堂あと 鈴木広 (青森県教育厚生会)

今様・奥の細道

釘持杜宇

飯坂から松島へ
宿の裏手の約二十五坪の敷地に
碑石が据わっていたが、それは句碑
ではなかった。表に「奥の細道」
の本文、其夜飯坂にとまる。(中
略)馬かりて桑折(おりの)の駅
に出た。を刻んでいた。裏には昭
和四十二年十一月二日撰文横井博
書泰平海、石工阿部喜久と誌し
ている。昔の滝の跡といわれ
る。芭蕉は本文では飯坂に泊る前に
真言宗瑞雲山法王寺に立寄って
いた。佐藤庄司の菩提寺である。
しかし實際は寺へは寄っていない
らしい。庄司の館と寺の横の墓石
をかいま見た程度のことだ。それ
は曾良日記でも寺へ入らずに書
いており、明らかである。
芭蕉が奥の細道の橋を起す時に
「寺に入りて茶を乞へば、ここ
に養縁の太刀弁慶がおひきこめ
て什物とす。」
とある。芭蕉は飯坂温泉を出て松島へ
の途中に法王寺の側を通った。
フルートランドという道路をつ
き、左右にわたるの青リン
が実っているのを見た。三島優
の車中談に「マイナスワイカガ
マイナスワイカガ」と福島女は梨
売りの声をかけるが、これは「お
いしい梨はいかが」との意。方言
や部も旅なれば進む親しみを
覚える言葉になる。

吉野山の謎

< 2 >

吉野宮所在地に諸説

桐井雅行

この謎は何気なく見て帰る、
さしたる興味も覚えなかったが、
その後、伝承飛鳥板蓋宮跡の井戸
が発見されたので見に行かないか
という誘いが、明日香村役場の藤我
原敬浄君からあり、私も半ば野次
馬の気持、大昔の井戸はどんな
ものであったのかとこの謎をたずね
て出かけた。

宮内省からは明確に飛鳥時代と指
摘されるものは出土していません。
崖段丘である。土壌の組成は砂礫
で水はけは極めてよい。飛鳥時代
とする確かな中核も欠けてい
る。宮内省「史跡吉野遺跡」と
指定されているものの「吉野
宮」あるいは「板蓋宮」であらう
は「古代・中世の文房具」で京
都市域で発見の碑、水注などが中
心。そのほか井戸、国際都市・京
都、オーブン展示、時代別の四コ
ーナ。
マ午前九時から午後五時、入館
午後四時三十分まで休館は月曜
(祝日などのときは翌日)マ入場
無料▽問い合わせは京都市上京区
今出川通り大宮東入ル、同館(〇
七五-四三三-三三四五)
「一階」新発見コーナー
「二階」展示室は七コナーに分
かれていて、
【羅城門】女闘ホール、ガラス
面の復元図。羅城門は平安京の正
面玄関であり、東西四〇〇、高
さ約二〇〇があったといわれるが、
数回の発掘調査でも明確な遺構は
わからぬ。
【緑袖コナー】平安京から多
量に出土した緑袖陶器を展示。王
朝貴族に好まれたという唾壺、耳
皿、香炉などは逸品ぞろい。
【五コナー】地下鉄工事で
発掘された石仏群は主として織田
信長が築城した旧二条城の石垣に
組み込まれていたもの。頭部だけ
残った地蔵仏も五輪塔、板碑など
は戦国時代のさまざまな物語
る。



最新資料を展示、弥生時代から平
安 鎌倉を経て大正時代に至るも
のが多い。旧二条城の石垣検出も
保存状況、調査内容などを写真バ
ネル、模式図の活用で理解に役立
たせている。
他に立休年表など三コナー。
二階の展示室は六コナー。
【やまのの遷遷コナー】細
文時代から桃山時代にいたるま
いの約百五十点を時代別に区分し
壁面で立体的に展示。
【テーマ展示コーナー】特定
のテーマで資料を公開する。今秋ま
は「古代・中世の文房具」で京
都市域で発見の碑、水注などが中
心。そのほか井戸、国際都市・京
都、オーブン展示、時代別の四コ
ーナ。
マ午前九時から午後五時、入館
午後四時三十分まで休館は月曜
(祝日などのときは翌日)マ入場
無料▽問い合わせは京都市上京区
今出川通り大宮東入ル、同館(〇
七五-四三三-三三四五)
「一階」新発見コーナー
「二階」展示室は七コナーに分
かれていて、
【羅城門】女闘ホール、ガラス
面の復元図。羅城門は平安京の正
面玄関であり、東西四〇〇、高
さ約二〇〇があったといわれるが、
数回の発掘調査でも明確な遺構は
わからぬ。
【緑袖コナー】平安京から多
量に出土した緑袖陶器を展示。王
朝貴族に好まれたという唾壺、耳
皿、香炉などは逸品ぞろい。
【五コナー】地下鉄工事で
発掘された石仏群は主として織田
信長が築城した旧二条城の石垣に
組み込まれていたもの。頭部だけ
残った地蔵仏も五輪塔、板碑など
は戦国時代のさまざまな物語
る。

首都東京を見て、何かを！
学校単位の貸切りで
ご利用下さい
30年の経験を生かす 50旅館 8000名収容
本郷の旅館へ
本郷旅館協同組合
〒113 東京都文京区本郷4-36-3 TEL 03-813-9381

修学旅行の新しい宿泊地
三重県立水郷自然公園
グラン・スパ
長島温泉
三重県名郡長島町
電話 05944-2-1113

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。
集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された《スズカビレッジ》
2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ...自分でハンドルを握る“ゆうえんち”。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も.....
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。